

**田植え最盛期が  
5月15日～25日頃になるよう、  
面積に応じた作業計画を！**

— 30年産米 —  
食味ランキング  
特A復活に向けて！

## 1. 土づくり資材 秋に施用していない圃場は、必ず施用してください！

低コスト	標準タイプ	秋落ちしやすい圃場へ
越後の輝きソイル <sup>マイ</sup> 米スター (15kg) <u>30kg施用</u>	ソイルキーパー Fe (20kg) <u>100kg施用</u>	魚沼ロマンアイアンスター (20kg) <u>60～80kg施用</u>

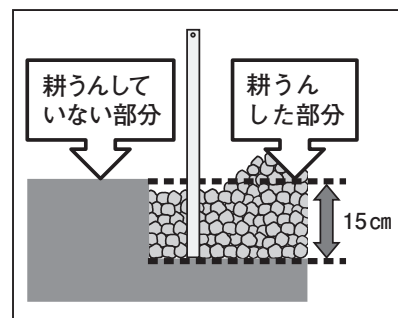
## 2. 本田作業

### (1) 耕うん

圃場が乾いてから、耕深15cmを目標に耕うんを行う。

15cmの深さまで耕うんすることにより、十分に根のはるスペースを確保して、高温や低温の影響を受けにくい田んぼにしましょう。

※15cmの確保が難しい圃場は、徐々に深くしていきましょう。



### — ポイント —

**土づくり資材の施用と耕深15cmで、気象変動に強い田んぼづくりを！**

### (2) 代かき

- ① ゆっくり丁寧な作業で、できるだけ均平に仕上げる。
- ② 本代前に荒代（荒かき）を行って、さらに均平に。
- ③ 移植3日前程度の作業で雑草抑制。

※代かき後から雑草の発生が始まります。また、浮苗による欠株を防ぐため、土が落ち着いてから（3日程度）移植を行いましょう。

### — ポイント —

**代かきはなるべく均平に仕上げる！ 又、田植えまでの期間も注意！**



※田面を均平にして、早期活着、欠株の防止、除草剤の効果安定、薬害のリスク軽減。

### 3. 初期除草剤

田植え前に使用する場合、代かき～田植えの期間が1週間以上空く場合に散布できます。

#### 【主な初期除草剤】

品名	10a 当り使用量	使用時期
ユニハーブフロアブル	500ml	<ul style="list-style-type: none"> <li>代かき後～移植7日前</li> <li>移植時</li> <li>移植直後～ノビエ1葉期 (但し、移植後30日まで)</li> <li>※キルクサは移植後15日まで</li> </ul>
草笛フロアブル	300ml	
キルクサ1キロ粒剤	1kg	
マーシェットジャンボ	500g	<ul style="list-style-type: none"> <li>代かき後～移植7日前</li> <li>移植後1日～ノビエ1葉期 (移植後30日まで)</li> </ul>
アークエース 1キロ粒剤 ※1	1kg	<ul style="list-style-type: none"> <li>代かき後～移植7日前</li> <li>移植時又は、移植直後～ノビエ1.5葉期 (移植後30日まで)</li> </ul>
マツタブジャンボ ※2	250g (5個)～ 500g (10個)	<ul style="list-style-type: none"> <li>代かき後～移植7日前</li> <li>移植直後～ノビエ1葉期 (移植後30日まで)</li> </ul>

・散布時は水深3～5cm程湛水し、水口と水尻を必ず止めてください。

・原則、散布後7日間は入排水を行わないでください。

※1 アークエース1キロ粒剤には、モグトンの成分が含まれているため、藻や表層剥離が発生しにくくなります。

※2 マツタブジャンボは10a 当り5個から散布可能なため、低コストになります。また、風の影響を受けにくくなっています。

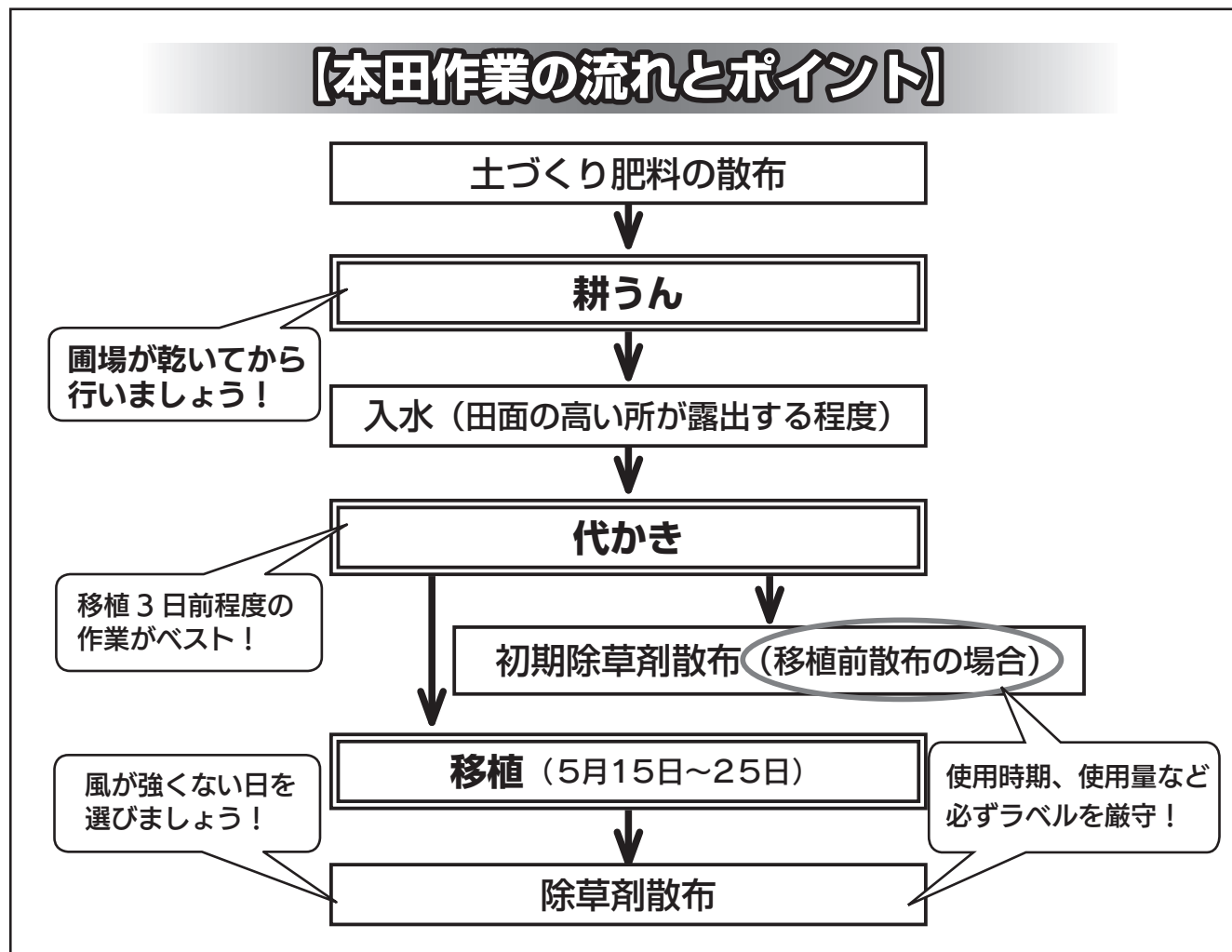
#### 初期除草剤散布例

日付例	5月13日	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日
移植前 日数	7日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	移植当日
散布後 日数	散布	1日間	2日間	3日間	4日間	5日間	6日間	
初期剤 の散布	○	×	×	×	×	×	×	○

#### — ポイント —

初中期一発除草剤だけでなく、初期剤と初中期一発除草剤の  
体系処理を行い、しっかりと除草防除を！

## 【本田作業の流れとポイント】



## — 基肥 —

### ○基肥窒素成分の目安

- ・基肥＋穂肥の体系施肥の場合…基肥の窒素成分は3～4kg
- ・一発肥料の場合…窒素成分4.5～6kg（主に有機30）

### 【主な基肥肥料】

種類	肥料名	成分量 (%)			慣行栽培米 基準施用量	窒素含有量
		N	P	K		
体系施肥	有機30魚沼ロマン側条専用粒状	12	15	12	30～40kg	3.6～4.8kg
	有機30魚沼ロマン500号	15	10	10	20～30kg	3.0～4.5kg
	有機30魚沼ロマンペーストS043	10	4	3	30～40kg	3.0～4.0kg
	魚沼ロマン有機専用	10	14	10	30～38kg	3.0～3.8kg
	越後の輝き有機50元肥	10	13	10	30～38kg	3.0～3.8kg
	国産高度化成オール14 (※2)	14	14	14	20～30kg	2.8～4.2kg
一発肥料	有機30魚沼ロマン元肥一発 (※1)	15	8	7	30～40kg	4.5～6.0kg
	魚沼ロマン有機一発285 (※1)	12	8	5	45～58kg	5.4～7.0kg
	越後の輝き有機30スーパー元肥	15	7	7	30～40kg	4.5～6.0kg
	越後の輝き有機50スーパー元肥プラス	12	5	6	45～58kg	5.4～7.0kg

※1 順次県下統一肥料「越後の輝き」シリーズに切り替え予定です。

※2 かがやきと同じ成分です。

## ○基肥一発肥料について

メリット	デメリット
・穂肥作業が省略できる（省力、低コスト）	・生育状況を確認してからの施用が出来ない ・施用量や施用時期を調節できない

※基肥一発肥料の場合、天候によっては穂肥を別に行う必要があります。

## — いもち病防除 —

### コシヒカリ B L：育苗箱施用剤による葉いもち 1 回防除

従来コシヒカリ、その他品種：育苗箱施用剤＋本田葉いもち防除

#### 【主な箱施用剤】

品名	使用量	使用時期	使用方法	適用病害虫名
Dr. オリゼフェルテラ 粒剤	50g/ 1 箱当り	緑化期～ 移植当日	苗箱に均一 に散布	いもち病・初期害虫・ イネアオムシ（フタオビコヤガ）等
Dr. オリゼプリンス 粒剤 6				いもち病・初期害虫・ ウンカ類・イナゴ類等

- ・葉が濡れていない状態で均一に散布します。
  - ・茎葉に散布した薬剤がのっている場合は払い落としてください。
  - ・床土が乾いている場合は、薬剤散布後に散水してから田植えを行いましょう。
- ※イナゴが気になる場合は、Dr. オリゼプリンス粒剤 6 を使用してください。  
※有機米部会の特裁 5 割減は、Dr. オリゼフェルテラ粒剤のみ使用可能です。

## 早朝田植え指導会

●日時 **5月8日(火) 6:30～**（30分程度の予定です）

●場所 ◆六日町カントリー（津久野下新田17）  
◆大和カントリー（九日町4021-1）

●内容 田植えのポイント 水稲除草剤使用ポイント など

## 携帯メール会員募集!!

無料（通信料は除く）でタイムリーな生育状況や緊急情報をメールで配信しています。

登録の仕方がわからない方は、携帯を持って普及指導課にお越しください。こちらで登録いたします！

登録は下記メールアドレスへ空メールを送信

[beikoku@haisin.jp](mailto:beikoku@haisin.jp)

または、右記 QR コードをご利用ください。➔



## 予告

次回のおいしい米づくり情報は、田植え等について掲載する予定です。

ご不明な点等がございましたら JA 普及指導課 (TEL777-3786) までお問い合わせください。